2021年３月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月５日

上場会社名　株式会社オールアバウト　上場取引所　東
コード番号　2454　ＵＲＬ　http://corp.allabout.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長兼執行役員ＣＥＯ（氏名）江幡　哲也
問合せ先責任者　（役職名）取締役兼執行役員ＣＡＯ　（氏名）森田　恭弘　ＴＥＬ　03-6362-1300

四半期報告書提出予定日　2020年11月11日　配当支払開始予定日 －

四半期決算補足説明資料作成の有無：　有　https://corp.allabout.co.jp/ir
四半期決算説明会開催の有無　：　無　新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から決算説明会を中止し、決算説明記事を上記URLに掲載予定

（百万円未満切捨て）

１．2021年３月期第２四半期の連結業績（2020年４月１日～2020年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年３月期第２四半期	8,325	8.5	404	－	406	－	225	－
2020年３月期第２四半期	7,671	10.2	12	－	15	－	△57	－

（注）包括利益　2021年３月期第２四半期　228百万円（－%）　2020年３月期第２四半期　△57百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年３月期第２四半期	17.02	16.74
2020年３月期第２四半期	△4.39	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年３月期第２四半期	6,756	4,364	59.3	297.83
2020年３月期	5,655	4,037	65.1	279.96

（参考）自己資本　2021年３月期第２四半期　4,003百万円　2020年３月期　3,680百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年３月期	－	0.00	－	3.00	3.00
2021年３月期	－	0.00			
2021年３月期（予想）			－	－	－

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

（注）当社は定款において、第２四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

３．2021年３月期の連結業績予想（2020年４月１日～2021年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	8.9	720	67.2	720	65.0	450	124.8	33.72

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：　無

②　①以外の会計方針の変更　：　無

③　会計上の見積りの変更　：　無

④　修正再表示　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年３月期２Ｑ	13,863,500株	2020年３月期	13,596,700株
②　期末自己株式数	2021年３月期２Ｑ	421,709株	2020年３月期	451,278株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2021年３月期２Ｑ	13,252,735株	2020年３月期２Ｑ	13,135,191株

※　四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

2021年３月期第２四半期の決算説明会につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、また現在多くの方が在宅勤務等を実施されていると想定されることから、会場を使用した説明会に代えまして、本日、決算説明スクリプトをホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により急激に景気が悪化し、依然として厳しい状況にあります。社会・経済活動の再開に伴う緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、米中貿易摩擦等の世界経済の不安定化や、新型コロナウイルス感染症の再拡大の懸念など、引き続き先行き不透明感が漂っております。

当社グループを取り巻く環境におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による消費活動や企業活動の停滞はマイナス材料である一方、新たな生活様式への変化や企業のデジタルトランスフォーメーション（DX）に伴い当社グループの提供するオンラインサービスの利用の増加が進むなど、新たな需要拡大が見込まれる状況が生じております。

このような環境下で当社グループは、「個人のチカラをベースに既存の情報流・商流・製造流を創りなおすイノベーションプラットフォームとなる」というビジョンのもと、専門の知識や経験を持った“ガイド”が分野別に情報発信する総合情報サイト「All About」のサービス拡大のほか、コンテンツマーケティング分野における当社の強みを生かした非連続な拡大を企図したビジネスマッチングプラットフォーム「PrimeAd」のテスト運用を開始するなど、新たなデジタルマーケティング事業基盤の拡充に努めてまいりました。

また、トライアルマーケティング＆コマース「サンプル百貨店」では、eコマース需要増に伴う商品拡充のほか、従来は会場で行っていたイベントをオンライン開催するなど、利用者の皆様及びマーケティング活動を行う法人への価値提供に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は8,325百万円（前年同四半期比8.5％増）、営業利益は404百万円（前年同四半期比3015.2％増）、経常利益は406百万円（前年同四半期比2534.3％増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は225百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失57百万円）となりました。

報告セグメントの状況は以下のとおりであります。

（マーケティングソリューションセグメント）

マーケティングソリューションセグメントにおきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により一部の業種におけるWeb広告出稿等のデジタルマーケティング活動の減退がありましたが、緩やかに回復する傾向が見えてまいりました。費用に関しましては、業務効率化により人件費を中心とした固定費が減少いたしました。

以上の結果、マーケティングソリューションセグメントの外部顧客に対する売上高は1,475百万円（前年同四半期比6.6％減）、セグメント利益は84百万円（前年同四半期比194.4％増）となりました。

（コンシューマサービスセグメント）

コンシューマサービスセグメントにおきましては、新たな生活様式の浸透に伴いeコマースの利用が増加し、主力の「サンプル百貨店」が継続拡大したことに加えて、ＮＴＴドコモ社と「dショッピング」の共同運営を開始したことにより売上が増加しました。また、「サンプル百貨店」におけるカテゴリーマネジメントの改善も進捗してまいりました。

以上の結果、コンシューマサービスセグメントの外部顧客に対する売上高は6,849百万円（前年同四半期比12.4％増）、セグメント利益は534百万円（前年同四半期比247.4％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は5,468百万円となり、前連結会計年度末に比べ959百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が342百万円、未収入金が861百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が359百万円減少したことによるものであります。

当第２四半期連結会計期間末における固定資産は1,287百万円となり、前連結会計年度末に比べ141百万円増加いたしました。これは主にソフトウエアが113百万円増加したことによるものであります。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は2,324百万円となり、前連結会計年度末に比べ783百万円増加いたしました。これは主に、未払金が1,015百万円増加した一方、買掛金が258百万円減少したことによるものであります。

当第２四半期連結会計期間末における固定負債は67百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円減少いたしました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は4,364百万円となり、前連結会計年度末に比べ326百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益を225百万円計上したこと及び新株予約権の行使により資本金が55百万円、資本剰余金が35百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年８月７日に公表いたしました業績予想の数値から修正を行っております。詳細につきましては、本日（2020年11月５日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響は依然として予断を許さない状況が続くと思われますが、本公表は、新型コロナウイルス感染症拡大による再度の緊急事態宣言の発出などの大規模な消費活動の停滞はないながらも、新型コロナウイルス感染症の影響は長期化し、新たな生活様式への変化による影響が今後も続くとする前提に基づいたものであり、今後の新型コロナウイルス感染症の収束あるいは再拡大の状況等によって変動する可能性があるため、当社グループの業績に影響を及ぼす事象が生じた場合には速やかに公表いたします。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2020年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （2020年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,411,206	2,754,079
受取手形及び売掛金	1,638,890	1,279,157
未収入金	68,145	929,566
商品及び製品	328,761	373,509
未成制作費	2,209	21,947
前払費用	50,314	69,353
その他	34,443	62,597
貸倒引当金	△24,530	△21,530
流動資産合計	4,509,441	5,468,680
固定資産		
有形固定資産		
建物	138,184	124,737
減価償却累計額	△85,583	△89,700
建物（純額）	52,600	35,037
工具、器具及び備品	128,554	112,905
減価償却累計額	△88,650	△82,440
工具、器具及び備品（純額）	39,903	30,464
有形固定資産合計	92,503	65,501
無形固定資産		
のれん	19,734	17,584
ソフトウエア	398,571	512,221
ソフトウエア仮勘定	42,647	82,924
その他	522	522
無形固定資産合計	461,477	613,253
投資その他の資産		
投資有価証券	98,732	121,174
関係会社株式	51,852	51,503
破産更生債権等	2,392	3,609
長期貸付金	10,445	7,715
差入保証金	319,639	319,640
繰延税金資産	97,025	91,490
その他	25,000	25,000
貸倒引当金	△12,517	△11,194
投資その他の資産合計	592,570	608,939
固定資産合計	1,146,551	1,287,694
資産合計	5,655,992	6,756,374

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2020年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （2020年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,084,941	826,489
未払金	13,829	1,029,063
未払費用	200,133	192,447
未払法人税等	110,789	162,846
未払消費税等	53,175	27,509
前受金	37,866	17,229
預り金	15,596	37,879
賞与引当金	6,200	10,535
その他	18,235	20,181
流動負債合計	1,540,766	2,324,182
固定負債		
退職給付に係る負債	36,687	38,330
資産除去債務	38,100	27,000
その他	2,615	2,233
固定負債合計	77,402	67,563
負債合計	1,618,169	2,391,745
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,212,420	1,268,315
資本剰余金	2,211,736	2,247,683
利益剰余金	961,639	1,147,772
自己株式	△704,392	△658,214
株主資本合計	3,681,404	4,005,556
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,263	△2,159
その他の包括利益累計額合計	△1,263	△2,159
新株予約権	6,687	6,420
非支配株主持分	350,994	354,811
純資産合計	4,037,822	4,364,629
負債純資産合計	5,655,992	6,756,374

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2020年４月１日 至　2020年９月30日）
売上高	7,671,406	8,325,210
売上原価	3,852,625	3,801,988
売上総利益	3,818,781	4,523,221
販売費及び一般管理費	3,805,805	4,119,014
営業利益	12,975	404,207
営業外収益		
受取利息	1,108	57
受取配当金	500	500
助成金収入	－	2,367
その他	1,625	942
営業外収益合計	3,233	3,868
営業外費用		
投資有価証券評価損	－	203
持分法による投資損失	666	348
その他	110	994
営業外費用合計	776	1,546
経常利益	15,432	406,528
特別利益		
受取和解金	22,293	－
新株予約権戻入益	440	－
その他	2,455	－
特別利益合計	25,189	－
特別損失		
固定資産除却損	1,666	－
減損損失	65,557	20,945
投資有価証券評価損	23,529	－
その他	1,093	－
特別損失合計	91,845	20,945
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△51,224	385,583
法人税、住民税及び事業税	15,173	150,662
法人税等調整額	△8,471	5,535
法人税等合計	6,701	156,197
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△57,926	229,386
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△273	3,816
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	△57,652	225,569

（四半期連結包括利益計算書）

（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　2019年４月１日 至　2019年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　2020年４月１日 至　2020年９月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△57,926	229,386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	－	△896
その他の包括利益合計	－	△896
四半期包括利益	△57,926	228,490
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△57,652	224,673
非支配株主に係る四半期包括利益	△273	3,816

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自2019年４月１日　至2019年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	マーケティングソリューション	コンシューマサービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,579,481	6,091,925	7,671,406	－	7,671,406
セグメント間の内部売上高又は振替高	22,603	5,340	27,943	△27,943	－
計	1,602,084	6,097,265	7,699,350	△27,943	7,671,406
セグメント利益	28,717	153,770	182,488	△169,512	12,975

（注）１．セグメント利益の調整額△169,512千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△169,512千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

コンシューマサービスセグメントにおいて運営するECサイトの一つについて、ドメインの閉鎖・移行をすることに伴い、当該資産グループに属する固定資産の帳簿価額の全額について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第２四半期連結累計期間において65,557千円であります。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自2020年４月１日　至2020年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	マーケティングソリューション	コンシューマサービス	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,475,433	6,849,776	8,325,210	－	8,325,210
セグメント間の内部売上高又は振替高	42,169	－	42,169	△42,169	－
計	1,517,602	6,849,776	8,367,379	△42,169	8,325,210
セグメント利益	84,552	534,155	618,708	△214,501	404,207

（注）１．セグメント利益の調整額△214,501千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△214,501千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。